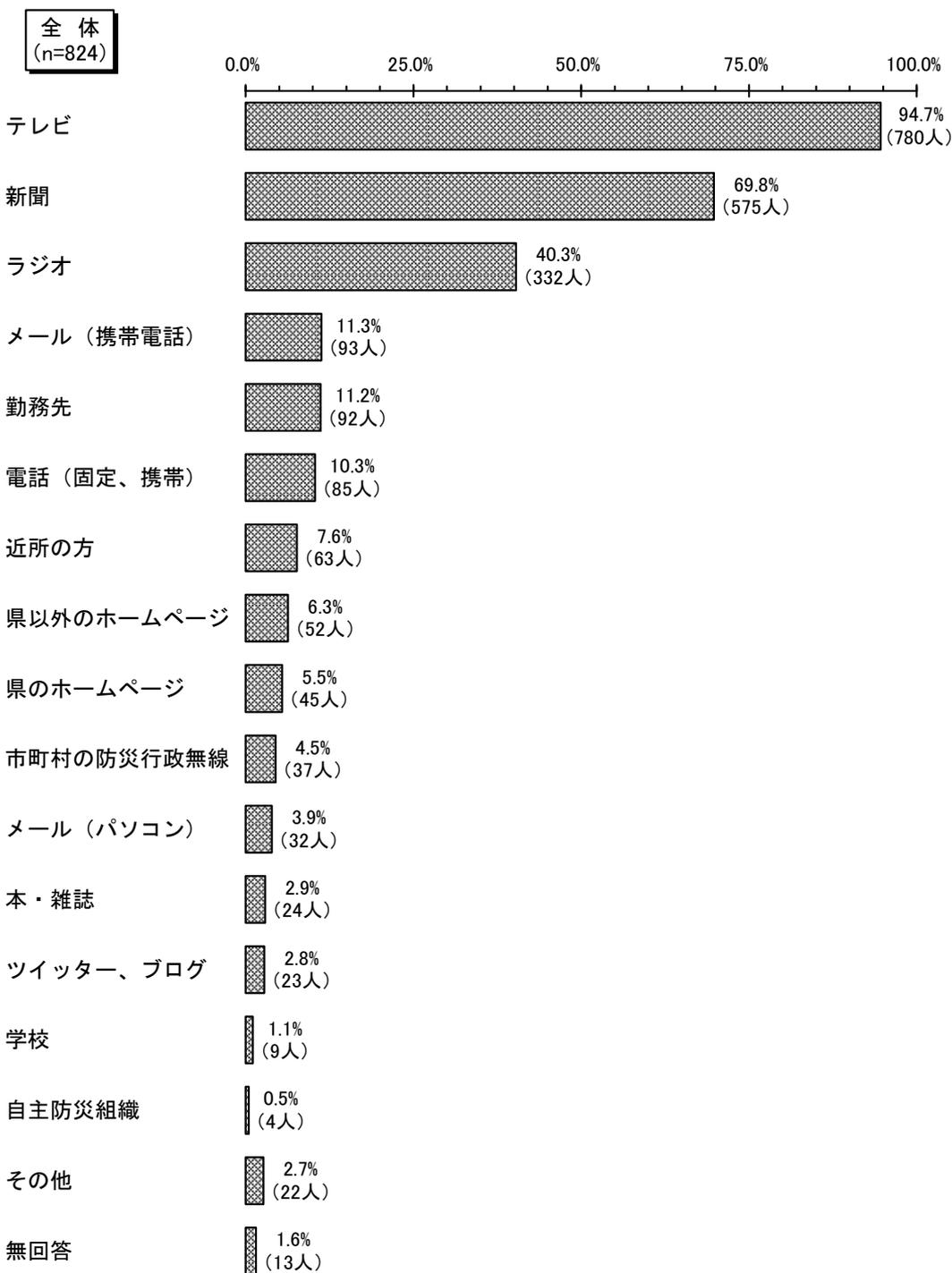


## Ⅱ 調査結果の解説

# 1 震災時及び現在における情報収集について

## (1) 震災直後の情報の入手手段

問1 東日本大震災直後から1カ月程度、どのような手段で情報を入手しましたか。  
多く活用したもの3つまで○をつけてください。

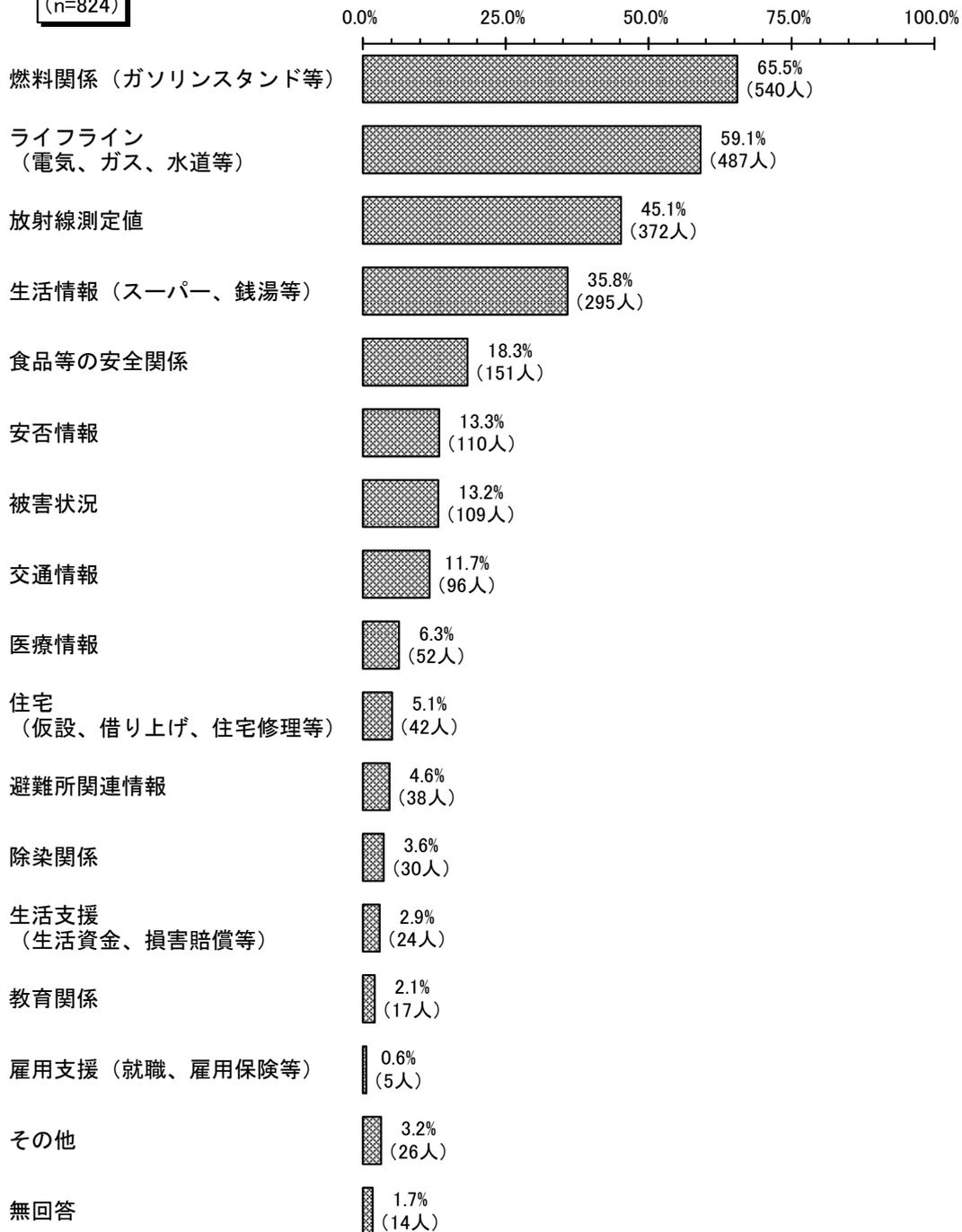


東日本大震災直後の情報の入手手段は「テレビ」(94.7%)が最も多く、9割を超えている。以下、新聞(69.8%)、ラジオ(40.3%)と続いている。

## (2) 震災直後に必要な情報

問2 東日本大震災直後から1カ月程度、特にどのような情報が必要でしたか。  
 当てはまるもの3つまで○をつけてください。

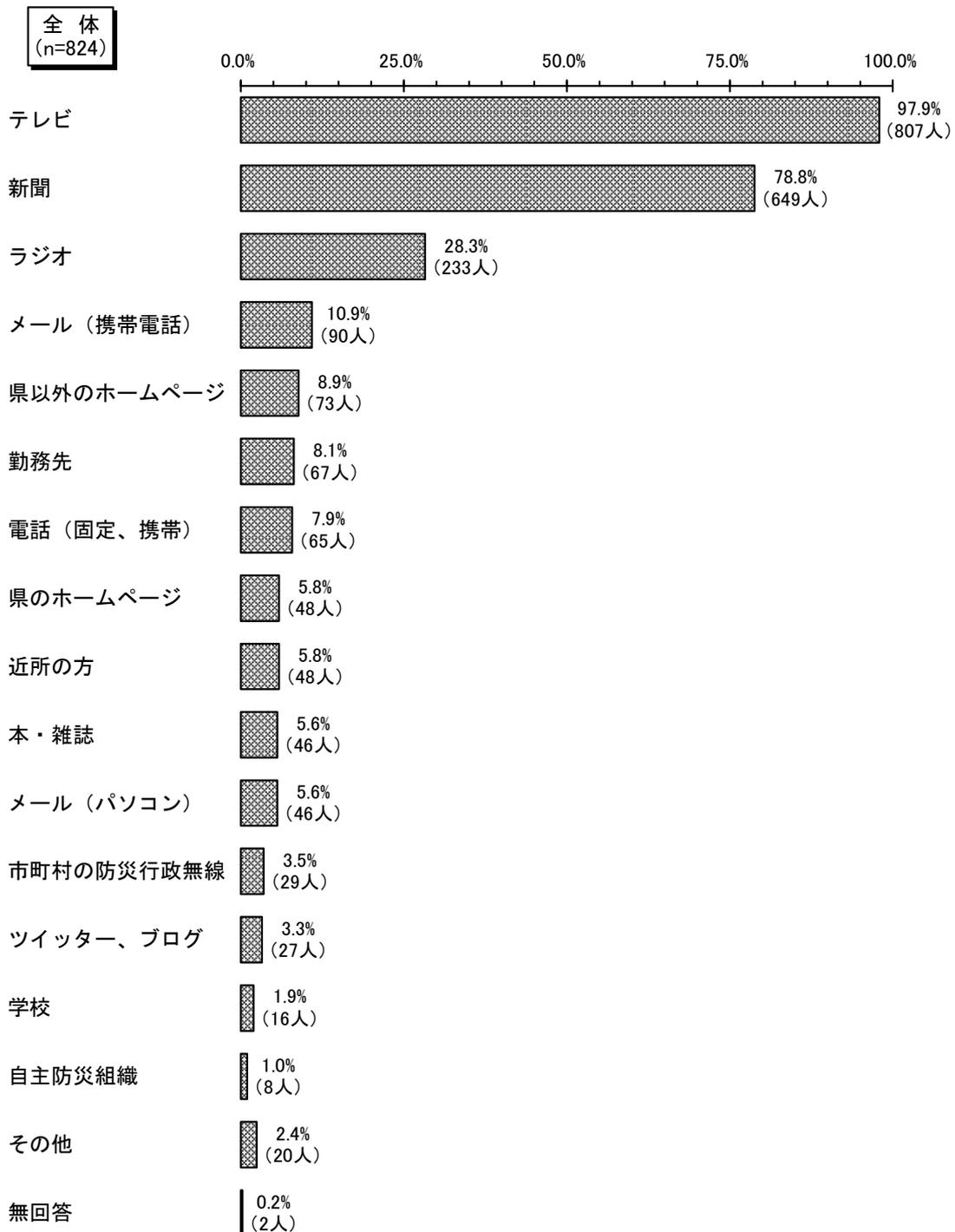
全体  
 (n=824)



東日本大震災直後に必要な情報は「燃料関係 (ガソリンスタンド等)」 (65.5%) が最も多く、6割強となっている。以下、「ライフライン (電気、ガス、水道等)」 (59.1%) が6割弱、「放射線測定値」 (45.1%) が4割台、「生活情報 (スーパー、銭湯等)」 (35.8%) が3割台で続いている。

### (3) 現在の震災情報の入手手段

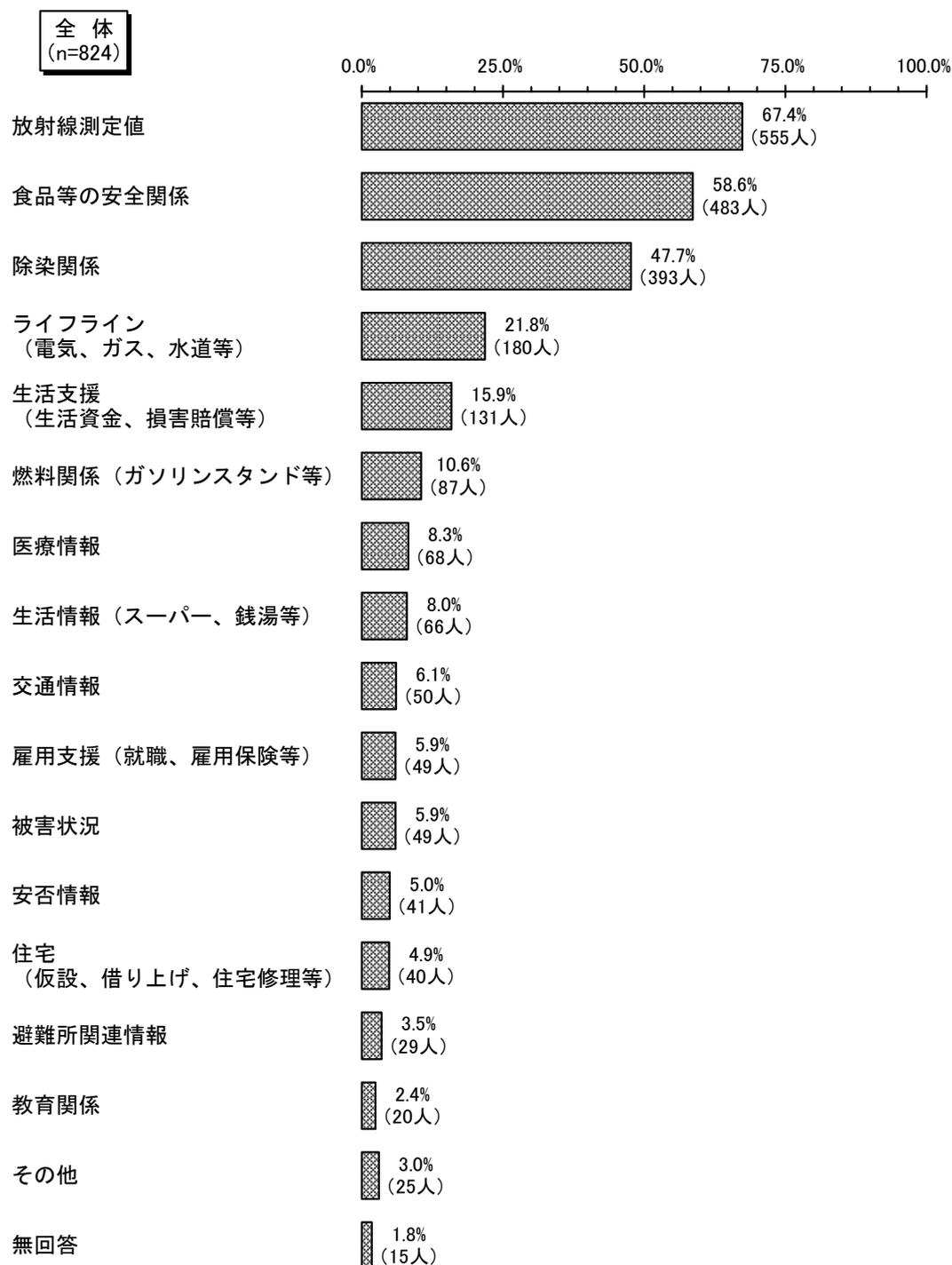
問3 現在の震災情報は、どのような手段で入手していますか。  
多く活用しているもの3つまで○をつけてください。



現在の震災情報の入手手段は「テレビ」(97.9%)が最も多く、ほとんどの人がこれを回答している。次いで、新聞(78.8%)が8割弱で続き、割合はかなり低くなるが、ラジオ(28.3%)が3割弱となっている。

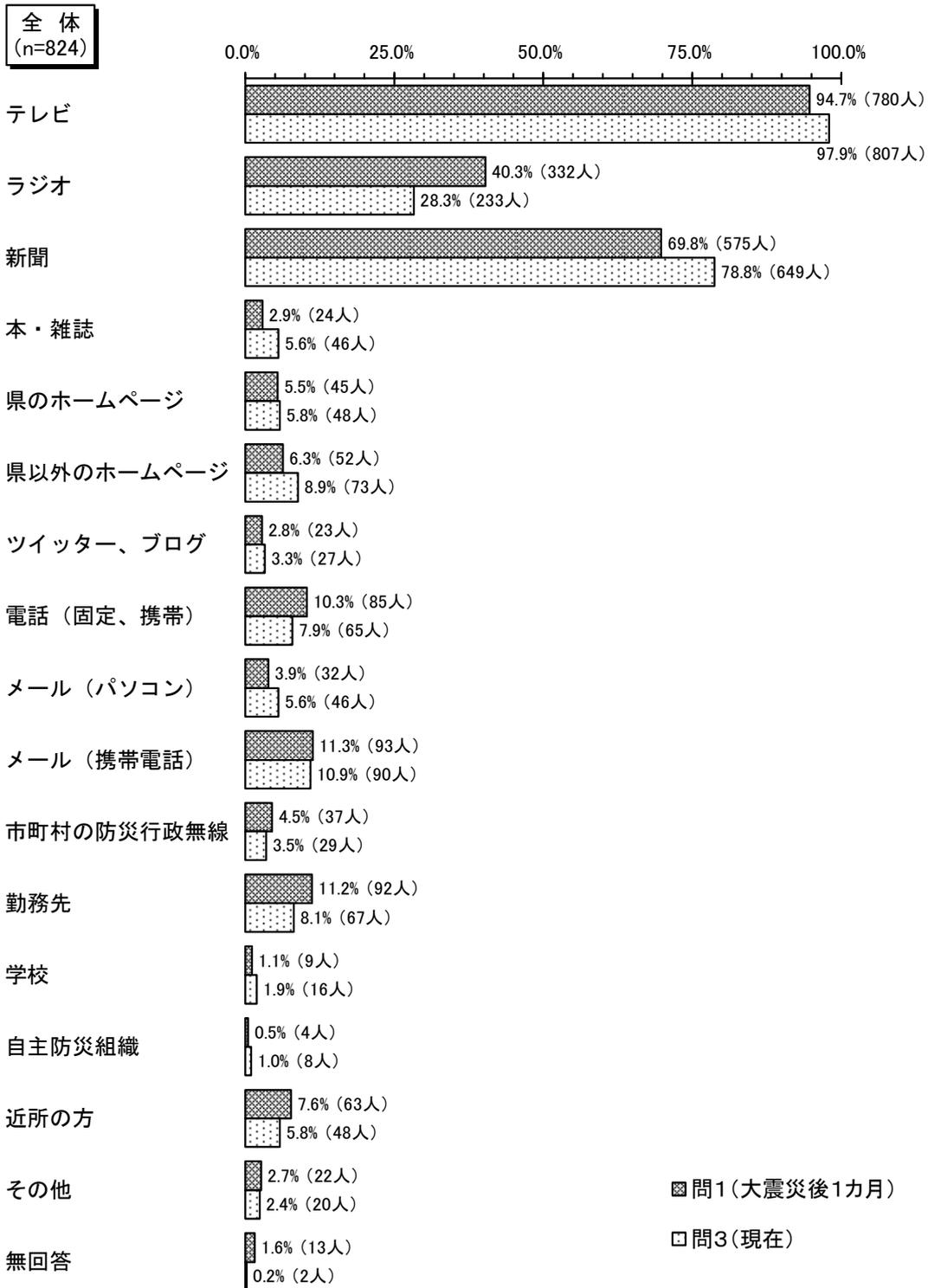
#### (4) 現在必要な震災情報

問4 現在の震災情報では、特にどのような情報が必要ですか。  
 あてはまるもの3つまで○をつけてください。



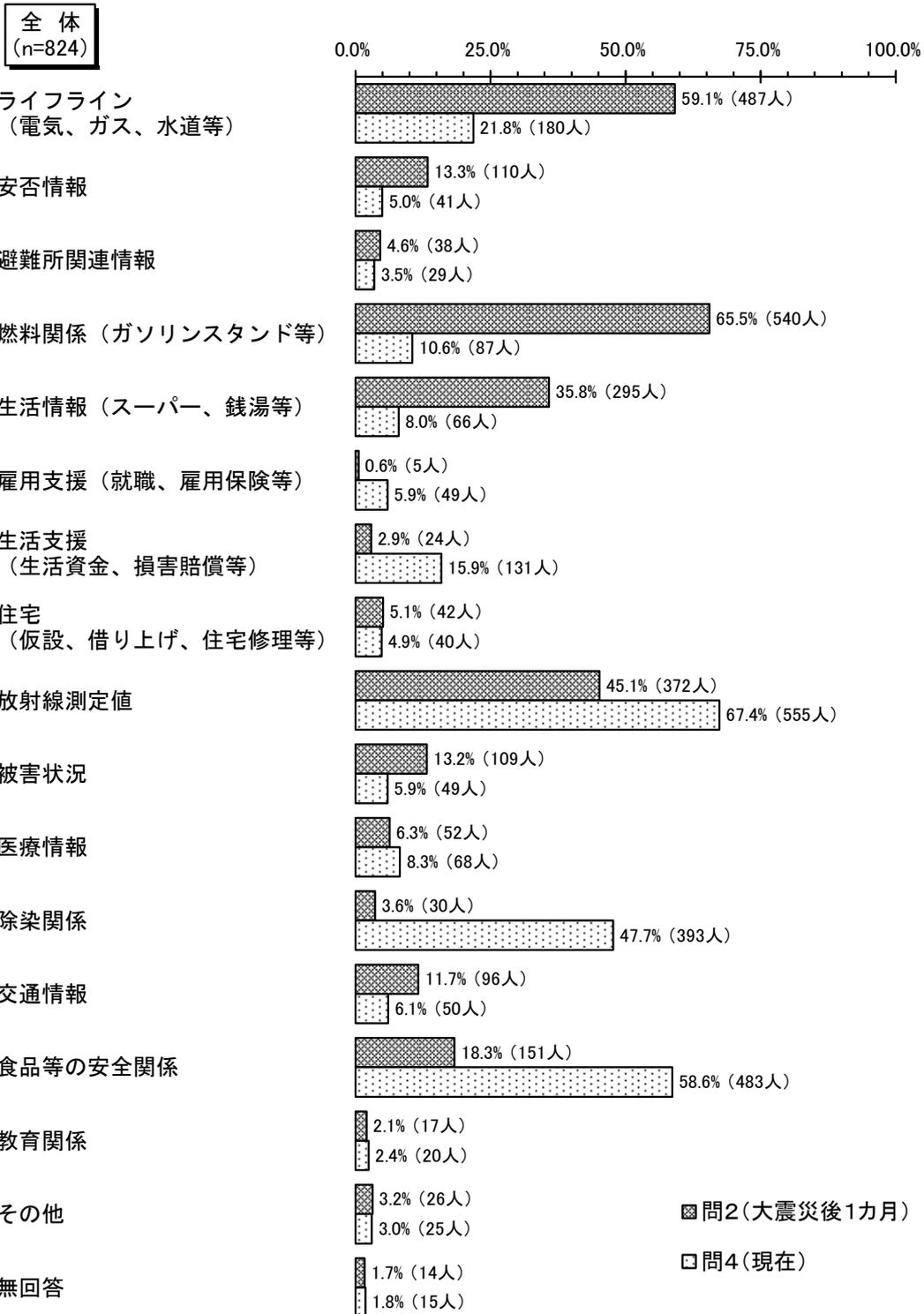
現在必要な震災情報は「放射線測定値」(67.4%)が最も多く、7割弱となっている。以下、「食品等の安全関係」(58.6%)が6割弱、「除染関係」(47.7%)が5割弱、「ライフライン(電気、ガス、水道等)」(21.8%)が2割強で続いている。

【参考 情報の入手手段の東日本大震災直後と現在の比較】



東日本大震災直後と比べると現在は、「新聞」の割合が上昇し、「ラジオ」の割合が低下している。

【参考 必要な情報の東日本大震災直後と現在の比較】



東日本大震災直後と比べると現在は、「放射線測定値」、「除染関係」、「食品等の安全関係」の割合が大きく上昇し、「ライフライン (電気、ガス、水道等)」、「燃料関係 (ガソリンスタンド等)」、「生活情報 (スーパー、銭湯等)」の割合が大きく低下している。